

病害虫防除技術情報第16号

平成 24 年 3 月 14 日
三重県病害虫防除所

イチゴのアザミウマ類の発生が多くなっています

- 1 対象作物 : イチゴ
- 2 対象病害虫名 : アザミウマ類
- 3 発生状況 : やや多い
 - 1) 3月上旬の巡回調査(12圃場)では、発生圃場率 75.0% (7年平均 16.9%)、寄生花率 4.7% (7年平均 0.6%) と多発しています(表)。
 - 2) 巡回調査圃場では、ヒラズハナアザミウマの発生が確認されました。
 - 3) 例年、一般圃場での発生は3月以降に増加します。
 - 4) 1か月予報(3月9日・名古屋地方気象台発表)によると、平年と同様に晴れの日が多く、3月17日から23日にかけて気温は平年並か高い予想です。

表. 巡回調査圃場における3月のアザミウマ類の発生状況(平成17年~平成24年)

調査項目	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	平年
発生圃場率(%)	18.2	0.0	0.0	0.0	50.0	8.3	41.7	75.0	16.9
寄生花率(%)	0.7	0.0	0.0	0.0	0.9	0.1	2.7	4.7	0.7

※各圃場において100花を調査。

- 4 防除上の注意事項
 - 1) 発生している圃場では、低密度のうちに防除してください。発生量が増加すると、花が黒褐色になり不稔になったり、果実の表面のつやがなくなり茶褐色になります。
 - 2) 現在発生が認められない圃場でも、気温の上昇に伴うハウスの開放により、周囲からの飛び込みがあります。特に換気口付近で初発するケースが多いので、花芯部や幼果での発生に注意してください。
 - 3) 薬剤の散布にあたっては、収穫前日数とともに、天敵やミツバチに対する影響も十分考慮して、薬剤の選択を行ってください。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。